

川村 しんじゅ

県政
レポート
Vol.18

子供たちに夢と希望を
お年寄りに安心と生きがいを

8つの目標

1. 基幹産業である農林水産業の振興
2. 観光立県いわての実現
3. 学校教育の充実と人づくり
4. 明るく豊かな長寿社会の実現
5. 東日本大震災からの復興
6. 地域を支える中小企業対策
7. 商工業の振興
8. 若者の雇用創出・安心して働く環境の整備

PROFILE

川村伸浩

岩手県議会：●農林水産委員長 ●地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員 ●東日本大震災津波復興特別委員
●新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員 ●議会改革推進会議 副座長 ●議員定数等検討会議
昭和31年2月生まれ65才。岩手県花巻市高松出身。黒沢尻工業高校卒業。尊敬する人：新渡戸稻造。好きな言葉：一期一会。性格：辛抱強い。

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの一年となりました。ワクチン接種も順調に進んで希望される方にはほぼ接種が終わり、昨年12月から始まった3回目接種も今年は本格的に始まります。今、日本国内では2020年以降で一番感染者が少ない状態が続いておりますが、新変異株「オミクロン」株の感染力と重症化がどの程度なのかも心配されるところです。引き続き感染症対策を取りながら社会活動・経済活動を行って頂きたいと思います。今年は昨年以上に努力を重ね、市民県民の皆様ご期待に応えることができるよう精進してまいります。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

川村伸浩

令和3年12月定例会・一般質問

REPORT 01 県税収入の見通しと令和4年度予算編成への影響について

Q 令和3年度及び令和4年度の県税収入の見通しと令和4年度予算編成への影響について県の所見を伺う。

A 【総務部長】

令和3年度の県税収入額は直近10月末時点で、現年課税分の調定額が前年度比30億7100万円(3・2%)増。令和4年度の県税収入は、中期財政見通しで令和3年度当初予算と比較し54億円(4・4%)増となる1271億円を見込んでいます。

令和4年度の予算編成では、人口減少の影響等により地方交付税等が減少、厳しい財務状況が見込まれることから、あらゆる手法での歳入の確保や歳出の徹底的な見直しにより、限られた財源の重点的かつ効果的な活用に努める。

より、県民一人ひとりが新型コロナウイルス感染症に関する情報を広く入手して自らの行動に生かせるよう情報発信に努めていく。

REPORT 02 県立病院における医師の働き方改革への対応について

Q 県立病院における診療体制の確保について影響が生じると懸念しているが、医師の働き方改革への対応に向けた県立病院の課題と取組について伺う。

A 【医療局長】

医療機関の管理者に対して、令和6年4月から原則として年960時間の時間外労働を上限としつつ、連続した勤務時間の規制や、勤務と勤務の間に定の休息時間を確保するなどの措置に取り組むことが求められており、各県立病院においても、当該法令を遵守しながら、医師の健康確保と救急医療など持続可能な医療提供体制との両立を図ることが課題。



QRコードから、LINE公式アカウント「岩手県-新型コロナ対策パーソナルサポート」をお友達登録してご利用ください。

REPORT 03 県立病院における医師の働き方改革への対応について

Q 県立病院における診療体制の確保について影響が生じると懸念しているが、医師の働き方改革への対応に向けた県立病院の課題と取組について伺う。

A 【医療局長】

医療機関の管理者に対して、令和6年4月から原則として年960時間の時間外労働を上限としつつ、連続した勤務時間の規制や、勤務と勤務の間に定の休息時間を確保するなどの措置に取り組むことが求められており、各県立病院においても、当該法令を遵守しながら、医師の健康確保と救急医療など持続可能な医療提供体制との両立を図ることが課題。

REPORT 02 新型コロナウイルス感染症への対応について

Q ウィズコロナ・アフターコロナに向けた、県民への情報発信の強化を行う必要があると思う。県民への情報発信のあり方について、知事の所見を伺う。

A 【知事】

飲食事業関係団体から「利用客が十分に戻らない」といった声も寄せられたことから、11月15日に県本部員会議を開催し、県民の皆様に、会食時的人数制限はしていいこと、飲食店の感染対策に協力の上で会食を楽しんでいただくことなどを呼びかけた。

現在は基本的な感染対策をしっかりと行い感染リスクを低く抑えていくことで、社会経済活動を安心して行うことができる状況と考える。

REPORT 04 花巻・北上地域における企業立地の課題と推進方策について

Q 半導体関連産業などの更なる集積や新たな企業立地を進めるための課題と推進方策について伺う。

A 【商工労働観光部長】

県南地域では自動車や半導体を中心としたものづくり企業による投資が続いている。このような動向は今後も続くと見込まれる。こうした中で新規立地や既立地企業の増設に伴う産業用地等の確保や人材の育成・確保が課題と認識する。

産業用地は市町村が整備することを基本とし、財政的な支援制度の整備や関係部署と連携した土地利用規制等への対応などについて、市町村の意向を踏まえ対応している。

感染拡大防止

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、お一人お一人の常時マスク着用と咳エチケット、手洗いなどの実施がとても重要です。引き続き感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

「もしサポ岩手」

感染拡大防止に向けた情報をLINEでお知らせ

QRコードから、LINE公式アカウント「岩手県-新型コロナ対策パーソナルサポート」をお友達登録してご利用ください。

関と連携し、高度なものづくり人材の育成も行っている。人材の確保については、高校生や教員、保護者を対象とした企業見学会や若手人材を紹介する動画の作成などによるものづくり人材の確保を支援している。

REPORT 05

農業振興について

Q 米価下落対策について。米の需給を改善し、米価の下落を防ぐための取組のあり方について県の所見を伺う。

A 【農林水産部長】



①県のアンテナショップ
②首都圏等の「黄金の国、いわて」応援の店
③花巻空港や、県のいわて秋冬キャンペーンに参加する宿泊施設等の利用者約30万人に対し、2合300グラムの「銀河のしづく」等と、QRコードで手軽に注文できる購入案内付きパンフレットを提供し、県産米の美味しさを実感し継続的な購入につなげるなど、県産米の消費拡大に取り組むこととしている。

今般の米の需給緩和は全国的な在庫量の増加が要因であり、国全体での対応が極めて重要であることから、県では、国主導による実効的な過剰米への対策や消費喚起などの需要拡大対策を推進するよう、全国知事会とも連携し、引き続き国に対し要望していくほか、需要が確保されるよう取り組んでいく。

Q 収入保険の加入促進について

A 【農林水産部長】

県ではリーフレットの作成・配布のほか、新聞への広告掲載などで広く農業者に対し制度の周知を図っている。

市町村、農業協同組合、農業共済組合等で構成する岩手県農業保険加入推進協議会では、地域説明会や未加入者への訪問等で加入促進に

取り組んでおり、農業者が制度を積極的に活用し安定した農業経営が行われるよう、今後も関係機関・団体と連携し取り組んでいく。

Q 中山間地域の振興について。集落機能強化加算は、集落の自治機能の強化につながるものと考えるが、県内の取組状況と今後の推進方策について伺う。

A 【農林水産部長】

中山間地域等直接支払制度の第5期対策において「集落機能強化加算」等が新設された。本年度、西和賀町の8集落をはじめ奥州市や花巻市など6市町29集落がこれを活用し、高齢者の見回りや通院・買い物支援、高齢者世帯の雪かき・雪降ろし支援、空き家周辺の草刈りなどに取り組んでいる。

今後も、集落代表者を対象としたセミナーや広報誌「中山間だより」等を通じ、県内の取組事例を紹介するなど、制度の活用等により中山間地域の活性化が図られるよう積極的に取り組んでいく。

◆その他、以下の項目について質問しました。



Q スマート農業技術の推進について。自動操舵技術を県内に広く導入していくためには、基地局の整備に限らない推進策も必要と考えるが、県の考えを伺う。

A 【農林水産部長】

現在では、RTK基地局の設置が有効であるが、①JAグループ等が提供する、国土地理院の電子基準点を活用する方式や、

②携帯電話会社が提供する位置補正情報を利用する方式など、低コストで利用できる新技術の活用が県内でも始まっている。

県北農業研究所にRTK基地局を設置し、中山間地や傾斜地でのトラクターの自動操舵による播種や除草の実用性の実証に取り組むとともに、今年度から、携帯電話会社の位

置補正情報を利用する方式についても同様の実証に取り組んでいる。

引き続き、生産性の向上つながるスマート農業技術が広く県内に普及拡大するよう取り組んでいく。

REPORT 06

道路整備について

Q 主要地方道花巻大曲線「小倉山の2工区」の開通の見通しについて。

A 【国土整備部長】

号トンネル(仮称)は11月末に貫通し、現在、トンネル断面をコンクリートで覆う工事などを進めているところで、トンネル本体の工事完成後には順次、舗装や照明設備などの工事を行い、令和6年度の「小倉山の2工区」の供用を目指していく。

A 【農林水産部長】

米価下落対策について。米の需給を改善し、米価の下落を防ぐための取組のあり方について県の所見を伺う。

A 【農林水産部長】

「黄金の国、いわて」応援の店③花巻空港や、県のいわて秋冬キャンペーンに参加する宿泊施設等の利用者約30万人に対し、2合300グラムの「銀河のしづく」等と、QRコードで手軽に注文できる購入案内付きパンフレットを提供し、県産米の美味しさを実感し継続的な購入につなげるなど、県産米の消費拡大に取り組むこととしている。

今般の米の需給緩和は全国的な在庫量の増加が要因であり、国全体での対応が極めて重要であることから、県では、国主導による実効的な過剰米への対策や消費喚起などの需要拡大対策を推進するよう、全国知事会とも連携し、引き続き国に対し要望していくほか、需要が確保されるよう取り組んでいく。

Q 収入保険の加入促進について

A 【農林水産部長】

県ではリーフレットの作成・配布のほか、新聞への広告掲載などで広く農業者に対し制度の周知を図っている。

市町村、農業協同組合、農業共済組合等で構成する岩手県農業保険加入推進協議会では、地域説明会や未加入者への訪問等で加入促進に

川村しんこうの主な活動報告(令和3年8月~12月)

8月

- 平良木地区圃場整備工事安全祈願祭
- 環境問題・地球温暖化対策調査特別委員会
- 県政調査会
- 議員定数等検討会議
- 復興特別委員会

9月

- 9月定例会(9/28~10/26)

10月

- ポスター・デザインコンテスト表彰式
- 親子県議会教室
- 花巻市戦没者追悼平和祈念式
- 市町村重点要望調査(県央・県南・沿岸)
- 議会改革推進会議
- 議員定数等検討会議
- 復興特別委員会
- 岩手県知事への要望
- 花巻北高創立90周年記念式典
- 自民党甘利幹事長との花巻経済懇談会

11月

- いわての地域づくり・道づくりを考える大会
- JA岩手県中央会との意見交換会
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 12月定例会(11/25~12/8)
- 花巻商工会議所永年勤続表彰式
- 小倉山トンネル貫通式

12月

- いわて政治塾
- 土地家屋調査士政治連盟 勉強会
- 測量設計業協会 議員懇談会
- 議員定数等検討会議
- 地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員会全国調査
- 花巻市勢功労表彰式
- いわて農林水産躍進大会

● 岩手県 新型コロナウイルス 感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>



● 厚生労働省 新型コロナウイルス 感染症関連情報

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



皆さんのご意見お聞かせください



<https://shinko-kawamura.iwate.jp/>

川村しんこう事務所

Tel: 025-0079 岩手県花巻市末広町6-16
TEL: 0198-29-5061 FAX: 0198-29-5062
E-mail: shinkoujimusyo@gmail.com



<https://www.facebook.com/KawamuraShinko/>

